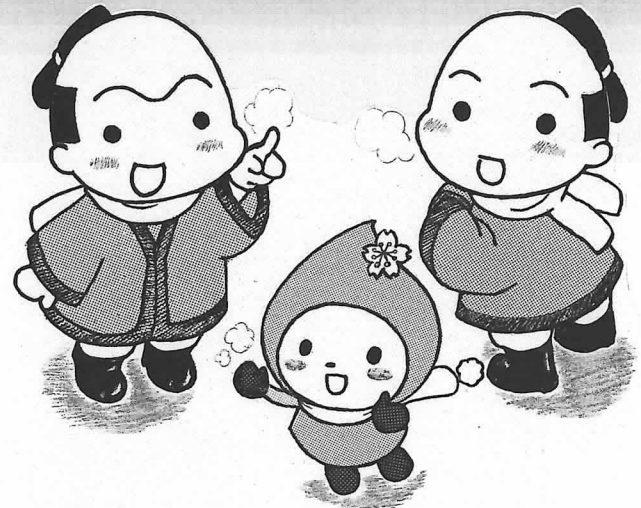
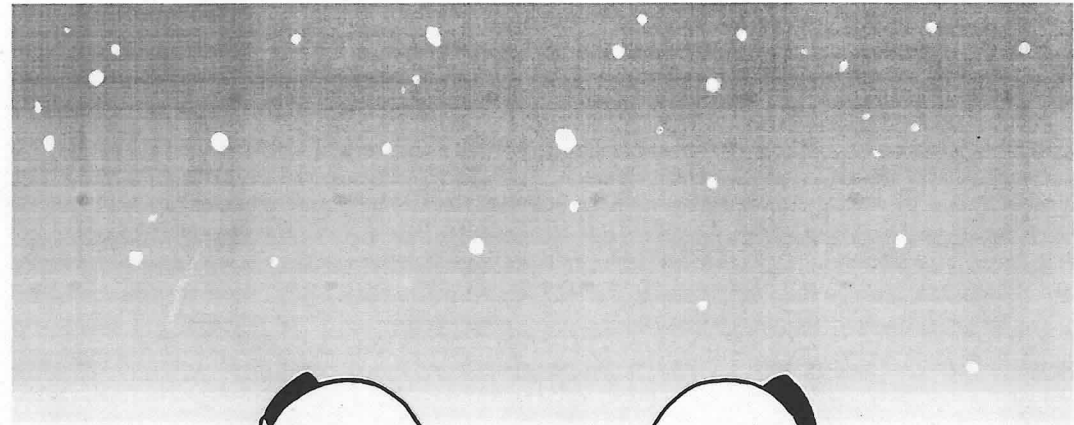


2014年 冬号

# みどりのまど

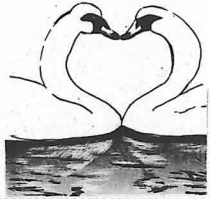


はむらしとしょかん  
554-2280

## ふわふわ 白鳥たちの消えた冬

中山聖子作 尾崎真吾画  
福音館書店 913/ナ

学校近くの公園の湖には、たくさんの水鳥たちが住んでいる。中でも白鳥の赤ちゃんは世界一かわいいと思う。そんなある日、1羽が「鳥インフルエンザ」に感染してしまう。白鳥たちはどうなるの？ 私たちに鳥たちを守ることはできないのだろうか？



こうがくねん  
高学年  
向け

## おばあちゃんは大どろぼう？

デイビッド・ウォリアムズ作  
三辺律子訳 きたむらさとし絵  
小学館 933/ウ

ベツにとって毎週金曜日はとてもたいくつな日。おばあちゃんと過ごすといけなから。けれど、そんなある日、おばあちゃんのお宝のヒミツを知ってしまう。なんと、おばあちゃんは、大どろぼうだった？！



## 犬のことばが聞こえたら



パトリア・マクララン作  
こだまともこ訳  
大庭賢哉絵  
徳間書店 933/マ

パパが家を出ていった日、ママはぼくとエリナを連れて、動物愛護センターへ行った。そこにいた犬4ひきとねこ1ひきを飼うことになってしまった。なんとエリナは犬と話ができるというのだ…。にぎやかになったけれど、ふとパパのことを考えると…。

## ソウがとおる村



ニコラ・デイビス作  
アナベル・ライト絵  
もりうちすみこ訳  
さくら書房 933/デ

ウレンの村は、インドゾウの通り道だったのでもいつも蒸らされていた。そこに畑を石炭会社に売ろうという話がある。あがった。でもウレンのおじいさんは、猛反対。ウレンもなんとかゾウと共に生きる方法はないかなやんでいた。

# ゾウの家に やってきた赤アリ

カタリーナ・バルクス 作絵  
伏見操訳 文研出版 953/バ

ゾウのドクター・フレッドがいえのそうじ  
をしていたら、げんかんのまえで赤アリ  
のココがおちゃをのんでいました。  
どうしてげんかんのまえで  
おちゃをしていたの？と  
ドクター・フレッドがたずね  
ると、ココにはなやみ  
があるというの  
です。



ていがくねん  
**低学年  
向け**

# ねこのかんづめ

北ふうこ作 鴨下潤絵  
学研教育出版 913/キ

たくやくんの家のねこのトラキチは、  
さいきんなんだか元気がない。  
エサのかんづめのせいだと思ふ。  
そこで、たくやくんはピエロのかん  
づめやさんで「ねこのかんづめ」を  
かってきた。さっそくか  
んづめをあげると中  
から出てきたのは...



# くっがくしたの だあれ？

山本悦子作  
大島妙子絵  
童心社 913/ヤ

おとなしいせいかくのユキと元気  
いっぱいのかなちゃん。2人は小さい  
ころからずっとなかよしでしたが、  
このごろかなちゃんはお友だち  
とあそびに行ってしまうことが多  
くなり... 2人はなかよしにもどることが  
できるのでしょうか？



# にひきの いたずらこやぎ

松居スーザン作 出久根育絵  
佼成出版社 913/マ

おばあさんは、にひきの元気でかわ  
いいこやぎをかいました。なまえは  
「ハイジ」と「パーター」。でもにひきは  
とってもいたずらこで、おばあさんの  
ところからにげてしまいました。おば  
あさんは森でまよってしまったこやぎ  
たちを見つけれ  
るのでしょうか？



# きっとオオカミ、 ぜったいオオカミ

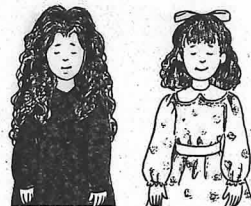
山崎玲子作 かわかみ味智子絵  
国土社 913/ヤ

山で動物の頭のほねを見つけた  
真砂人。近くの神社ではオオカミが  
まつられているとじいちゃんと言っ  
た。オオカミのほねかどうかたしかめ  
るために真砂人は一人で  
東京の博物館へ行くこ  
とにしたけれど、知らない  
男の子がついてきて...



ちゅうがくねん  
**中学年  
向け**

# ハンナの学校



クローリア・ウィーラン作 中家 多恵子訳  
スギヤマカナヨ絵 文研出版 933/ウ

ハンナは目が見えないという理由で  
学校に行っていません。よその町から  
やってきたロビン先生は、ハンナがみん  
なと勉強できるように手伝ってくれま  
した。ドキドキしながら学校へ行、た  
ハンナですが...

# お〜い、雲よ



長倉洋海著  
岩崎書店 748/ナ

雲はなににもいわないけれど、  
私たちに広い空からみまもってくれる。  
きみは雲をみてなにをおもう？  
「お〜い雲よ」と語りかけたくなる  
かな。

# タミオがきた

すとう あさえ作  
福田岩緒絵  
文研出版 913/ス



大好きなひいじいとはなれて暮らすことにな  
ったタミオ。ある日、  
ひいじいがたおれてしまった。  
タミオは、ひいじいが元気になる  
ように、クヌギの種を東京でたくさん  
植えることにした。でも、新しいアパ  
ートのかん理人にないしょで種を植えて  
しまっ...